

## 第6学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 曲想を生かして合唱しよう
- 2 教材 「一日一步の未来」(長井理佳 作詞 鹿谷美緒子 作曲)
- 3 指導に当たっての考え方

### 本学級の実態

音楽を好きな子どもは多いが、きれいな歌声で歌わなければならないと思うあまり、のびのびと自分の歌声に自信をもって歌うことはできていない。また、第5学年における「つばさをだいて」や第6学年における「つばさをください」等の楽曲において、二部合唱を経験し、歌声が重なり合う心地よさを感じはじめており、二部合唱への意欲は高まってきつつある。

曲想を考えながら歌ったり演奏したことはあるが、自分たちの思いに近づけるための工夫をした経験は十分でない。

呼吸や発声の仕方、発音、姿勢に気をつけて、二部合唱できる響きのある歌声までにはいたっていない。

### このような教材で

楽曲「一日一步の未来」は、「夢(将来)」に向かって、自信をもって自分の足で一日一歩ずつ歩いていこう! というメッセージを、みんなに呼びかけていく、明るい二部合唱曲である。特徴的な要素を分析すると以下のように考えられる。

**歌詞:** 「明るい気持ちで、自分の足で一日一歩ずつ過ごしていこう」というメッセージから、自分の未来は自分で切り開くという思いが表現できる。

**旋律:** 弱起による語りかけ効果や、上向による自然なクレシェンドで、自分の思いが自然に表せるようになっている。追いかける副旋律から、和声的な副旋律に変わり、いろいろな夢も、一日一日を大切にしていけばかなうという思いが表現できる。

**和声:** 第5・6フレーズを2部合唱にすることで、自分への語りかけから、みんなへの語りかけへととなり、一日を大切にしていこうというメッセージを十分に伝えられるようになっている。

**強さ:** 全体的に *mf* で、友達との会話的な感じを出し、第6フレーズでは一番うたいたいことをクレシェンドからの *f* で表現している。

本教材は、歌詞や旋律、和声などから醸し出される曲想をもとに二部合唱するのに適した教材だといえる。

### このような指導・支援で

つかむ段階では、曲想をとらえ、主旋律を正しく歌うことができることをねらう。

そのために、まず、「一日一步の未来」という題名から、どんな曲かを想像させる。

次に、縦書き歌詞と拡大楽譜を提示し、範唱CD(斉唱)を聴かせることで、曲の感じをつかませる。そして、主旋律を歌っていく。

最後に、この曲に込められたメッセージを考えさせ、「夢(将来)」に向かって、自信をもって自分の足で一日一歩ずつ歩いていこう! というメッセージが伝わるように第5・6フレーズを工夫していこうという次時の見通しをもたせる。

深める・味わう段階では、

曲想に合うように、追いかけてこしたり響きのある声で、うまく音を重ねたりしながら二部合唱することができることをねらう。

そのために、まず、前時を想起しながら歌い、メッセージが1番つまっている部分(第5・6フレーズ)を確認する。そして、範唱CD(二部合唱)を聴かせ、「第5フレーズ前半を追いかけてこしながら、第5フレーズ後半以降を二部合唱」という工夫を試みようというめあてをもたせる。

次に、ピアノや鍵盤ハーモニカで正しいリズムや音程を確かめながらアルトパートを歌っていく。そして、希望をもとにソプラノとアルトを分け、互いのパートの音を聴きながら歌えるように円になって二部合唱していく。

最後に、「一日一步の未来」に込められたメッセージを確認して二部合唱する。

### 指導目標

- 歌詞に込められたメッセージや旋律・和声を考えながら、工夫して歌おうとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 歌詞の内容や旋律の特徴・二部合唱の意味を感じ取り、表現を工夫することができる。  
(感受・表現の工夫)
- 響きのある声で、訴えかけるように二部合唱することができる。  
(表現の技能)

#### 4 歌う内容、歌う活動、教師の支援の設定

楽曲分析	歌う内容	歌う活動	教師の支援
<b>曲想</b> 「夢(将来)に向かって、自信をもって一日一歩ずつ歩んでいこう!」というメッセージをみんなに呼びかけていく、明るい二部合唱曲。 歌詞:「明るい気持ちで、自分の足で一日一歩ずつ過ごしていこう」というメッセージから、自分の未来は自分で切り開くという思いが表現できる。 旋律:弱起による語りかけ効果や、上向による自然なクレシェントで、自分の思いが自然に表せるようになっている。追いかけ合う副次的旋律から、和声的な副次的旋律に変わり、いろいろな夢も一日一日を大切にしていけば叶うという思いが表現できる。 和声:第5・6フレーズを二部合唱にすることで、自分への語りかけから、みんなへの語りかけへととなり、一日を大切にしていこうというメッセージを十分に伝えられるようになっている。 強さ:全体的に mf で、友達との会話的な感じを出し、第6フレーズでは一番伝えたいことをクレシェントからの f で表現している。	明るく、みんなにメッセージを呼びかけていくように二部合唱すること  「夢(将来)に向かって、自信をもって自分の足で一日一歩ずつ歩んでいこう!」というメッセージを感じ取って正しく覚えて歌うこと 主旋律と副次的旋律を正しく覚え、第5・6フレーズを曲の盛り上がり部分だと感じ取って歌うこと  かけ合いの部分と和声的に重なる部分を合わせて歌うこと  第5・6フレーズを工夫して歌うこと	覚えて歌う 感じて歌う  覚えて歌う 感じて歌う  感じて歌う 合わせて歌う  工夫して歌う	「3回で覚えよう」表書きの歌詞を提示する。  斉唱と二部合唱の範唱CDを聴かせる。 斉唱用と二部合唱用2つの拡大楽譜を提示する。 二部合唱用の拡大楽譜を提示する。 円になり歌う。 聴き役をつくる。 表書きの歌詞と拡大楽譜を提示する。

#### 5 指導計画(全2時間)

	つかむ	深める・味わう
ねらい	「夢(将来)に向かって、自信をもって自分の足で一日一歩ずつ歩んでいこう!」というメッセージをみんなに呼びかけていく、明るい二部合唱曲であるという曲想をとらえ、主旋律を正しく歌うことができる。	「一日一歩の未来」に込められたメッセージが伝わるよう、第5・6フレーズを工夫して歌うことができる。
主な学習活動と内容	1 「一日一歩の未来」と出会い、本時のめあてをつかむ。 (1) 曲名や範唱CD(斉唱)を聴き、曲の感じについて話し合う。 ・明るく元気がでる感じ ・さわやかな感じ (2) 本時のめあてをつかむ。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             「一日一歩の未来」に込められたメッセージを考えながら歌おう。           </div> 2 主旋律を覚えて正しく歌う。 (1) 範唱CD(斉唱)に合わせて3回歌う。 歌詞を正しく覚えること ・ステップ1:歌詞を見て歌えるようになったら立って歌う ・ステップ2:声が出せるようになったら離れて歌う ・ステップ3:歌詞を覚えて歌えるようになったら後ろを向いて歌う (2) 歌いにくいところを部分的に練習する。 旋律を正しく歌うこと (3) 聴き役をつくり、自分たちの歌声を確認する (4) 正しく歌えていないところを練習する。 (5) 伴奏CDに合わせて歌う。  3 「一日一歩の未来」に込められたメッセージについて話し合い、次時学習以降の見通しをもつ。 (1) 「一日一歩の未来」に込められたメッセージについて話し合う。 「夢(未来)に向かって自信をもって自分の足で一日一歩ずつ歩んでいこう」というメッセージが込められていること (2) メッセージを伝えるうえで「一日一歩の未来」の歌詞の中で一番大事だと思うところを話し合い、次時の見通しをもつ。 第5・6フレーズの工夫をすること (3) 本時の振り返りを書く。	1 前時学習を振り返り、学習のめあてをつかむ。 (1) 伴奏CDに合わせて「一日一歩の未来」を歌い、前時を想起する。 (2) 二部合唱の範唱CDを聴かせ、本時のめあてをつかむ。 ・第5フレーズ前半:かけ合い ・第5フレーズ後半+第6フレーズ:二部合唱 (3) 二部合唱の拡大楽譜を提示し、二部合唱する意味について話し合い、学習の見通しをもつ。 かけ合いや二部合唱の意味を知ること  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             「一日一歩の未来」に込められたメッセージが伝わるよう、第5・6フレーズを工夫して歌おう。           </div> 2 副次的旋律を覚えて正しく歌い、二部合唱する。 (1) ピアノに合わせてアルトパートを歌う。 アルトの旋律を正しく歌うこと (2) 歌いにくいところを部分的に練習する。 (3) 希望をもとにソプラノとアルトに分かれる。 (4) ソプラノとアルトを合わせて歌う。 ・ステップ1:ソプラノとアルトが、それぞれ分かれて2つの円で ・ステップ2:ソプラノとアルトが一緒の2つの円で(一方は聴き役)  3 本題材のまとめとして、二部合唱する。 (1) 伴奏CDに合わせて歌う。 ・ステップ3:前を向いて (2) 第5・6フレーズを工夫して歌う。 (3) 本時の振り返りを書く。 「夢(未来)に向かって自信をもって自分の足で一日一歩ずつ自分の足で歩んでいこう」というメッセージを伝えるために、第5・6フレーズを工夫したこと

7 本時の目標

曲想を表すように、二部合唱しようとしている。 (関心・意欲・態度)  
 互いのパートの音を聴きながら歌うことができる。 (感受・表現の工夫)  
 響きのある声で、訴えかけるように二部合唱することができる。 (表現の技能)

8 準備 拡大歌詞 拡大楽譜 範唱CD (二部合唱) ピアノ 鍵盤ハーモニカ

9 展開

歌う内容	歌う活動	教師の支援
<p>1 前時学習を振り返り、学習のめあてをつかむ。                      (1) 伴奏CDに合わせて「一日一步の未来」を歌い、前時を想起する。                      主旋律を正しく歌うこと</p> <p>(2) 二部合唱の範唱CDを聴かせ、本時めあてをつかむ。                      ・第5フレーズ 前半：かけ合い                      ・第5フレーズ 後半+第6フレーズ：二部合唱</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「一日一步の未来」に込められたメッセージが伝わるように、第5・6フレーズを工夫して歌おう。</p> </div> <p>(3) 二部合唱の拡大楽譜を提示し、二部合唱することについて知り、学習の見通しをもつ。                      二部合唱の意味を知り、メッセージを感じて歌っていくこと</p>	<p>覚えて歌う</p>	<p>前時を想起させるために、どんな感じの曲だったのか、一日一步の未来に込められているメッセージ、拡大歌詞・拡大楽譜を掲示して歌わせる。</p> <p>メッセージが1番つまっている部分を確認し、第5・6フレーズにどんな工夫がされているかを聴き取らせる。</p> <p>「かけ合いになっているのは、私の夢(将来)、あなたの夢(将来)はいろいろあるからであり、二部合唱になっているのは、夢(将来)に向かって、一日一步ずつ歩んでいこうというメッセージ(思い)は1つだからなのでは?」ということを提案する。</p>
<p>2 副次的旋律を覚えて正しく歌い、二部合唱する。                      (1) ピアノに合わせてアルトパートを歌う。                      副次的旋律を覚えて歌うこと</p> <p>(2) 歌いにくいところを部分的に練習する。                      副次的旋律を正しく歌うこと</p>	<p>覚えて歌う</p> <p>覚えて歌う</p>	<p>拡大楽譜に於いて、アルトパートを確認し、ピアノでアルトパートの音を弾く。</p> <p>正しい音程やリズムで歌えるように、ピアノで音を確認めたり、部分的に繰り返し歌ったりする。</p> <p>旋律や音符で気をつける部分は、拡大楽譜に印をつける。</p> <p>それぞれのパートの円の中心に鍵盤ハーモニカを配置し、子どもに音を取らせながら、旋律を歌わせる。</p> <p>パート練習の場所を、音楽室の前と後ろに取り、円を崩さず鍵盤ハーモニカの伴奏で合わせて歌わせる。</p> <p>音の重なり具合いや、まだ、正しく歌えていない部分は、再度パート練習をして修正させる。</p> <p>互いのパートの音を聴きながら、ハーモニーが出るようする。</p>
<p>(3) 希望をもとに、ソプラノとアルトに分かれ、二部合唱する。                      ソプラノ：アルト=4：6程度に分かれて合わせて歌うこと                      ソプラノとアルトが、それぞれ分かれて2つの円で合わせて歌うこと                      ソプラノとアルトが一緒の2つの円で合わせて歌うこと(一方は聴き役)</p>	<p>合わせて歌う</p> <p>合わせて歌う</p> <p>合わせて歌う</p>	<p>それぞれのパートの円の中心に鍵盤ハーモニカを配置し、子どもに音を取らせながら、旋律を歌わせる。</p> <p>パート練習の場所を、音楽室の前と後ろに取り、円を崩さず鍵盤ハーモニカの伴奏で合わせて歌わせる。</p> <p>音の重なり具合いや、まだ、正しく歌えていない部分は、再度パート練習をして修正させる。</p> <p>互いのパートの音を聴きながら、ハーモニーが出るようする。</p>
<p>3 本題材のまとめとして二部合唱する。                      メッセージが伝わるように、互いの音を聴きながら前を向いて合わせて歌うこと                      メッセージが伝わるように第5・6フレーズの強弱や唱法を工夫すること</p>	<p>合わせて歌う</p> <p>工夫して歌う</p>	<p>「一日一步の未来」に込められたメッセージが伝わるように工夫してきたことを確認して歌う。</p> <p>強弱や唱法の工夫については、自然に表現できない時は、指導する。</p>